

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

## 今週のピックアップ感染症

### ●突発性発疹

生まれて初めての高熱は、この病気が多いようです。熱が下がるのと前後して、赤い発疹が出るのが特徴です。

#### ◆どんな病気？

ヒトヘルペスウイルス6型・7型による感染症で、生後4ヶ月～1歳の乳幼児に多い病気です。2～3歳までにほとんどの子どもが感染します。感染しても症状の出ない不顕性感染が20～40%と言われています。

- ・症状……38℃～40℃の高熱が2～4日続き、解熱の前後におなかや背中、腕や足、顔に赤い発疹が出ます。下痢を伴うこともあります。
- ・潜伏期間……10日程度
- ・感染経路……唾液に含まれるウイルスが、赤ちゃんの口や気道から入って感染すると考えられていますが、よくわかっていない部分もあります。
- ・流行期……季節性はなく、一年中みられます。



#### ◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。
- ・熱が高いときは特に、水分をしっかりとらせ脱水にならないように気をつけましょう。発疹が出たあとも高熱が続いたり、ぐったりしているときは早めに医療機関を受診しましょう。

#### ◆予防法は？

- ・多くの場合は重い合併症もなく、予後も良いため、特に予防が問題となることはありません。

期 間		平成28年 第20週		平成28年 第21週	
		5/16～5/22		5/23～5/29	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	3	0.13	2	0.08
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	4	0.27
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.27	6	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	13	0.87	24	1.60
感染性胃腸炎	➡	49	3.27	48	3.20
水痘(みずぼうそう)	➡	5	0.33	7	0.47
手足口病	➡	1	0.07	9	0.60
伝染性紅斑(りんご病)	➡	13	0.87	4	0.27
突発性発しん	➡	6	0.40	23	1.53
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	2	0.13	5	0.33
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	11	0.73	11	0.73
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	9	1.80	17	3.40
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	4	0.80
マイコプラズマ肺炎	➡	4	0.80	2	0.40
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	3	0.60	0	0.00